

目 次

2005年度事業関係 事業概況報告	5
事業内容	
【1】事業活動	8
【2】組織と運営	22
2006年度事業関係	
【1】本年度事業計画の概要	24
【2】事業活動	27
【3】組織と運営	29
2005年度決算報告および2006年度予算	
【1】貸借対照表	30
【2】収支決算表	31
特定非営利活動法人 寝屋川市民たすけあいの会地域ケアセンター * 2005年度事業報告と2006年度事業計画について	33
会員関係	42
* 2005年度運営委員名簿	
* 2006年会員名簿	
寝屋川市民たすけあいの会会則	45
特定非営利活動法人 寝屋川市民たすけあいの会地域ケアセンター 一定款	48
寝屋川市民たすけあいの会のあゆみ	58

寝屋川市民たすけあいの会

2005年度事業概況報告

寝屋川市民たすけあいの会は、1978年5月に設立以来、市民の手により主体的につくられた寝屋川ボランティア・ビューローを拠点として、様々な地域活動を行ってきた。

2005年度に実施した当会の事業活動概況は次のとおりである。

2005年度は、たすけあいの会が「サービス事業所としてのたすけあいの会」、「ボランティア・ビューローとしてのたすけあいの会」、そして「会員組織としてのたすけあいの会」の3つの側面の点それぞれについて、昨年度に引き続き、さまざまな活動と見直しをおこなってきた。

まず、事業部門においては、2000年から事業をはじめ、2003年度の支援費制度の施行にあわせた障害者支援の事業化によって事業部門は完成を迎えた。介護保険の基準該当事業者の取得から始まり、事業部門を担う「NPO法人寝屋川市民たすけあいの会地域ケアセンター」の設立、取得。法人事業として身体障害者相談事業である市町村障害者生活支援事業の委託、精神障害者のホームヘルパー事業の補助。そして、日中活動の場が、基準該当の身体障害者デイサービス、そして障害者ヘルパーの派遣の事業所になった。地域生活支援をささえる市民参加のセンターとして、小規模多機能を標榜し相談・訪問・日中活動の場を持つことになった。しかし、介護保険にはじまった制度改革の波は、2005年度、報酬改定により、事業部門は大きな減収を余儀なくされ、2006年度には、改革そのものがピークをむかえることになり、今年度は、そのための試行錯誤を行うことになった。試行錯誤は必ずしも成功したとはいえず、大きな課題を抱えながら、2006年度も引き続き、制度の改正に対応しながら、内部的な改革を行っていくことになる。

次にボランティア・ビューロー、市民組織としてのたすけあいの会は、ボランティアや市民活動を取りまく状況も大きく変わって来始めている中で、関係団体との新たなネットワークを模索し、3年ほど事業中心で、あまり行ってこなかった事業を昨年度に引き続き取り組みをおこなった。精神関係の活動への積極的な支援、ボランティア講座の開催、数年ぶりのかわち市民塾の開催、など新たな発信とネットワークの再構築を模索し始めている。また、新しい動きであるNPO活動にも、一定参画し、活動を行っている。しかしながら、在宅ボランティアに関しては、課題が山積みのままで、有効な対策がうてていない。また、ボランティアビューローとしてのたすけあいホームのあり方についても、検討を行っている。

最後に、会員組織としてのたすけあいの会については、昔からの会員さんの高齢化の問題が表面化し、会員さんの入れ替えの時期にさしかかっている。また、事業が前面にでていることもあり、組織的には脆弱化している部分があるのも否めない。しかし、昔からの会員さんの交流会やミニデイ（たすけあいサロン）の見直しもはじめ、会員交流的な面も強めていく方向を模索し始めている。

以下は「たすけあいの会」が2005年度に行った事業の内容である。

【1】地域活動では、まず在宅ボランティア、介護保険と支援費制度、精神障害者のホームヘルパーの派遣、ガイドヘルパーの派遣、日中活動の場「ぼちぼちはうす」の運営（身体障害者デイサービスとその他）を行った。

2005年度在宅サービス実績

	利用者数	回数	時間
ボランティア	2人	30回	
介護保険・訪問介護	1人	12回	24時間
精神障害・居宅介護	1人	91回	177.5時間
支援費・居宅介護	49人	1,658回	8,072時間
施設入所者ガイド	1人	9回	58.5時間
移送車貸出（ボランティアによる移送運行含む）	休止		
ぼちぼちはうす（身障デイ）	10人	1,276回	7,586時間

次に交流活動として、在宅の老人・障害者・難病患者の交流会（在宅療養者交流会）を春・秋に開催した。今年度も月に1回のたすけあいサロン（ミニデイサービス）と月に1回の言語障害・失語症の方のミニデイサービスを開催した。障害児の遊びのプログラム びっくりおもちゃ箱を年4回行った。

【2】老人福祉施設への訪問活動は、寝屋川十字の園に11回、ロイヤルライフ・カミダに2回、輝きのまちケアハウス池田デイサービスセンターに17回訪問、活動した。また老人保健施設 松柏苑へは16回、めぐみデイサービスセンターに23回訪問した。

行事援助活動も昨年に引き続き、定期的にめぐみデイサービスセンターよりイベント補助の依頼が入り、ロイヤルライフ・カミダ、輝きのまちケアハウス池田とともにお手伝いをさせていただいている。

また、引き続き寝屋川保健所の主催行事「ひまわり会」「ほほえみ会」へのお手伝いも続けさせていただいている。

【3】需給・連絡調整活動では、主にボランティア関係の受理件数が74件あった。また、地域生活支援センターでは、さまざまな相談を中心に384件の相談と472件の連絡調整を行った。

【4】ボランティアへの援助としては、在宅サービス活動に参加するボランティアのためのケース検討会を開催した。

また、昨年度に引き続き、カンガルー倶楽部への支援を、寝屋川難病連絡会、障がい者の自立を考える会「やじろべー」への協力・援助を行った。

また、大阪ボランティア協会とろうきんのプロジェクトに協力した。

精神障害者地域交流事業「ひなたぼっこの会」の事務局を引き受け活動の支援をした。

【5】教育活動では、障害者生活支援事業の事業として、自立生活プログラムを開催した。寝屋川市社会福祉協議会の補助を受け、精神保健福祉ボランティア講座を開催した。

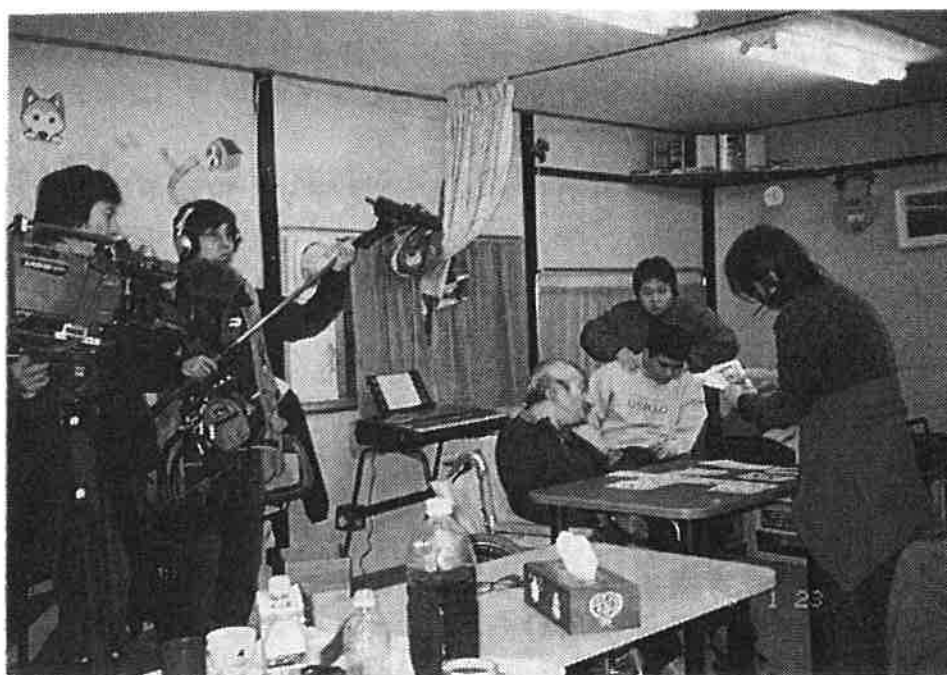
また、かわち市民塾を開催した。

【6】広報活動では、会誌「つなぐ」を6回発行した。さらにマスコミやミニコミを利用し、また講演活動にも応じ、会のPRに努めた。

2006年3月には毎日放送「映像06」にて「ぼちぼちはうす」が取材・放送された。

【7】その他、相談活動や調査活動、見学の受け入れなども行った。

介護保険サービス提供事業者の第三者委員に任命された。



【映像'06「ぼちぼちはうす」撮影風景】

事業内容

【1】事業活動

1. 地域活動

(1) 在宅サービス活動

① 在宅ボランティア活動

2005年度に「たすけあいの会」に寄せられた在宅ボランティアのニーズは件であった。このうち 件に対応した（継続分含む）。

ボランティアの依頼として入りながらも相談をしていくうちに、制度の適応できるものも増えている。また、逆に制度内で対応できず、ボランティアとして行っているものも増えてきている。

また、地域生活支援センターの生活支援での訪問は、ここにカウントはしていない。

合計対応ケース数のべ30件 合計回数30回

☆具体的な活動内容は以下のような内容である。対象者は、高齢者、障害児者、児童、難病者であった。

【主な活動内容】

① 部屋の大掃除、買い物・銀行等への付き添い、見守り、役所手続き代行、薬取り、受診付き添い、引越しのお手伝い、学校が終わってからの遊び相手、通院付き添い、学校までの送迎ボラ、留守番など。今年度は、障害児さんの遊びのケースがほとんどであった。

② 移送サービス事業

7年前、市内の住民参加型在宅福祉サービスを手がけていた団体が解散することになり、その団体が日本財団から、もらいうけていたリフト付きの軽ワゴン車を譲渡されることになった。また、2001年2月には、新たに日本財団より車輛（マツダ・デミオ）の寄贈を受け、2003年2月に「24時間TV愛は地球を救う」よりハイエースの寄付を頂いた。合計現在3台の車輛を保有している。

以前より、病院などへの車での移送、送迎は在宅ケースとして対応していたが、車の譲渡を機に、リフト付き軽ワゴンの貸出およびこの車を利用した移送ボランティア（前掲）による移送を行っていたが、国の方がNPO等による移送サービスの制度化を進めており、その動向を見ていくため、昨年度からは移送サービスそのものを休止した。昨年度、半ばに運営協議会の結成に伴い、NPO法人有償移送（いわゆる道路交通法80条適用移送）の申請を行った。

その他、当会行事、当会事業、「ぼちぼちはうす」による運行を行っている。

③ 介護保険・訪問介護事業・居宅介護事業（身体介護・家事援助）【法人事業】

2000年度4月より、介護保険の訪問介護事業を基準該当サービス事業者として開始した。これまでの在宅ボランティア活動の延長として行い始めた。

さらに、2002年度より、精神障害者の居宅介護等事業をはじめた（法人事業）。2002年8月より、これまでの在宅ボランティア活動の延長として1ケースの派遣がはじまった。

2003年度より、身体障害、知的障害児者の制度が支援費制度になり、身体障害、知的障害児者のホームヘルプ（身体介護・家事援助）の事業も開始した。
2005年8月に介護保険の事業を基準該当ではなく、府の認可に変更した。

④ガイドヘルパー派遣事業（居宅介護事業・移動介護）【法人事業】

2000年度8月より、全身性障害者と知的障害者の方のガイドヘルパーの利用を増やし、外出の機会を増やしていただくことを目的にガイドヘルパーステーション“HOT!”を開設し、ガイドヘルパーの紹介・調整を始めた。
2003年度より身体障害、知的障害児者の制度が支援費制度になり、身体障害、知的障害児者のホームヘルプ（身体介護・家事援助）の事業の中の移動介護区分に大枠が移行した。

⑤日中活動の場「ぼちぼちはうす」（法人事業）

障害のある方の豊かな日中活動を行っていただく場として、「ぼちぼちはうす」を2000年10月より開設した。2003年度春に、障害者共同作業所の認可ではなく、寝屋川市の基準該当の身体障害者デイサービスとして運用することになった（1名の知的障害の方の相互利用を含む）。利用時間は10：00～16：00となっている。デイサービスの枠外として一時的な利用や時間延長の取り組みも行っている。

主な利用者は、いわゆる最重度の重複障害をお持ちの方が中心である。

今年度は定期的な利用者が10名となっている。見学・来訪者は40名、ボランティアはのべ121名であった。

2006年3月19日の毎日放送「映像06」でぼちぼちはうすが取材・放送された。

※法人事業の「ヘルパーステーションほっと」と「ぼちぼちはうす」の苦情解決第三者委員については、皇学館大学講師（2006年4月～追手門学院大学）の古川隆司さんをお願いしている。

⑥エルダーサロン

主にぼちぼちはうすを利用して、元気なお年寄りが集まることができる場所として、エダーサロンを開催している。今年度は開催されなかった。

（2）交流活動

1. 在宅療養者交流会

「たすけあいの会」では、1984年度より、在宅の寝たきり老人・障害者・難病患者等とその家族、およびボランティアの交流の場づくりを企画している。

2005年度の活動内容は以下の通りである。

- | | | |
|-------------|--------------|-----|
| ☆ 5月 8日(日) | 万博記念公園内 日本庭園 | 23名 |
| ☆ 10月31日(日) | 大阪歴史博物館 | 23名 |
| ☆ 1月29日(日) | 会員懇親会(十字の園) | 15名 |

総計 のべ 61名

2. 「たすけあいの会」では、1995年度より在宅のお年寄り・障害者・難病患者等の方々と買い物に行くプログラムを企画している。

2005年度は、多くの方がガイドヘルプで外出できるようになったこともあり、一端休止した。

3. たすけあいサロン（ミニデイサービス）

たすけあいの会では2000年度6月より、月に1度（第1土曜日）にめぐみデイサービスセンターをお借りして、ミニデイサービス（たすけあいサロン）を開催しはじめた。2001年度8月より場所を「ぼちぼちはうす」に変更し、続けている。

4月	9日（土）		8名
5月	7日（土）		8名
6月	4日（土）		7名
7月	2日（土）		8名
8月	6日（土）		8名
9月	3日（土）	イケダのふれあい祭りへ参加	5名
10月	1日（土）		10名
11月	5日（土）		7名
12月	3日（土）		8名
1月	7日（土）		9名
2月	4日（土）	「こころの健康まつり」に参加	4名
3月	11日（土）		8名

総計 のべ 90名

4. 寝屋川さくらんぼの会ミニデイサービス

失語症ライブの同窓会を元に言語障害、失語症を持つ人たちの会「寝屋川さくらんぼの会」の運営への協力と各交流事業への参加を行った。さらに2001年度11月からは、めぐみデイサービスセンターにて言語聴覚士の方の協力を得、月に1度（第3土曜日）にミニデイサービスを行っている。現在は、場所を保健福祉センターに変え、言語聴覚士の専門学校生のボランティアの協力を得ながら活動を行っている。

4月16日（土）	参加者	8名	家族	3名	ボランティア	8名
5月21日（土）	参加者	6名	家族	3名	ボランティア	15名
6月18日（土）	参加者	6名	家族	1名	ボランティア	9名
7月16日（土）	参加者	7名	家族	3名	ボランティア	16名
8月20日（土）	参加者	7名	家族	3名	ボランティア	20名
9月17日（土）	参加者	7名	家族	1名	ボランティア	9名
10月15日（土）	参加者	7名	家族	1名	ボランティア	11名
11月19日（土）	参加者	6名	家族	0名	ボランティア	14名
12月17日（土）	参加者	5名	家族	0名	ボランティア	12名
1月21日（土）	参加者	5名	家族	0名	ボランティア	4名
3月18日（土）	参加者	4名	家族	0名	ボランティア	15名

総計 のべ 216名

5. びっくりおもちゃ箱の開催

たすけあいの会が以前行っていた障害児の遊びのプログラム。ボランティアと障害児の遊びのプログラムとして、関係機関・学校に広報し行った。2005年度は、参加する子どもさんを6名と固定し、4回開催した。

7月18日(月)	参加者	4名	ボランティア	21名
9月23日(金)	参加者	4名	ボランティア	16名
12月23日(金)	参加者	5名	ボランティア	15名
3月21日(火)	参加者	6名	ボランティア	16名

総計 のべ 87名

(3) 福祉施設への訪問活動

1. 特別養護老人ホーム寝屋川十字の園

「たすけあいの会」では、1979年より毎月1回(第3火曜日)、市内の特別養護老人ホームを訪問し、清掃、縫製、お年寄りの話し相手・代筆等の活動を行っている。2005年度の活動は、以下の通りである。

	日時	活動内容	参加数
1	4/19 10時～12時	キャラメル利用の座薬を使いやすいよう工夫する作業をおこなう。	5名
2	5/17 10時～13時	タオルケットなどを裁断し、縫い合わせて大小のマットを作成する。	4名
3	6/21 10時～12時	医療用ガーゼを用途別のサイズに折って箱に詰める。	5名
4	7/19 10時～12時半	医療用ガーゼを折って箱に詰める。キルティング布で車いすのフットレスカバーを作る。	5名
5	9/20 10時～12時	キャラメル利用の座薬を使いやすいよう工夫する作業をおこなう。	6名
6	10/18 10時～12時	白い反物を裁断してシーツを作る。 医療用ガーゼを折って箱に詰める。	3名
7	11/15 10時～12時	白い反物を裁断してシーツを作る。	6名
8	12/20 10時～12時	蛍光灯の清掃(1階、2階の入居者部屋・玄関・食堂・トイレ等)。	8名
9	1/17 10時～12時	キャラメル利用の座薬を使いやすいよう工夫する作業をおこなう。	4名
10	2/21 10時～12時半	タオルを雑巾にして縫う。医療用ガーゼを用途別のサイズに折って箱に詰める。	4名
11	3/21 10時～12時半	キャラメル利用の座薬を使いやすいよう工夫する作業をおこなう。	3名

計 のべ 53名

2. ケアハウス「ロイヤルライフ・カミダ」

「たすけあいの会」では、1994年3月より市内のケアハウス「ロイヤルライフ・カミダ」への訪問を開始し、施設の清掃、デイサービスの補助、散歩、買い物の介助などを行っている。主に、木曜日は施設内の清掃、金曜日はデイサービスの補助を行っている。年々、活動は停滞しており、現在は定例では訪問できていない。2005年度は総計2回、ボランティアは合計のべ2名であった。

3. デイサービスセンター輝きのまち（ケアハウス池田）

「たすけあいの会」では、1996年度の10月より市内のケアハウス「輝きのまち ケアハウス池田」併設のデイサービスセンターへの訪問を開始し、週1回木曜日に特別 浴の着脱のお手伝いを行っている。また、1997年度10月より月曜日にもデイサービスのお手伝いを行っている。

2005年度は月曜日のみで総計17回、ボランティアは合計のべ17名が訪問を行っている。

4. 老人保健施設「松柏苑」

「たすけあいの会」では、1998年度の5月より市内の小松病院に併設・建設された老人保健施設「松柏苑」への訪問を開始し、利用者の方の入浴後のお手伝いを週2回行っている。

2005年度は金曜日のみ総計16回、ボランティアは合計のべ29名が訪問を行っている。

5. めぐみデイサービスセンター

市内のデイサービスセンター。これまでもいろいろなつながりがあったが、今年度半ばに、新たに定例の訪問の依頼があり、毎週金曜日、訪問・活動を行った。

総計23回、ボランティアは合計23名

（4） 行事援助活動

1. 福祉施設行事活動への協力

a) めぐみデイサービスセンター

市内のデイサービスセンターの行事援助を行っている。

①お花見	4月1日・4日・6日・8日・12日	5回	6名
②バラ園	10月24日・26日・27日・28日	4回	9名
③買い物	11月1日・2日	2回	3名
④忘年会	12月16日・19日・20日	3回	3名
		合計	14回 のべ21名

b) ロイヤルライフカミダ

①大掃除	6月30日	1回	6名
②ロイヤル祭	9月11日	1回	13名
③一泊旅行	10月20～21日	1回	1名
④菊人形	11月4日・8日・9日	3回	3名

⑤大掃除

12月15日

1回 3名

合計 7回 のべ26名

c) 輝きのまち「イケダ」

ふれあい祭 9月3日

1回 5名

合計 1回 のべ 5名

総計 22回 のべ52名

2. 寝屋川保健所主催行事への協力

☆神経系難病者交流会「ひまわり会」への参加

月に1回開かれる大阪府寝屋川保健所主催の「ひまわり会」でボランティアとしてお手伝いさせていただいた（おおむね各回2名）。合計12回 のべ21名

☆痴呆性老人家族の会「ほほえみ会」への参加

隔月に1度開かれる大阪府寝屋川保健所主催の痴呆性老人家族の会「ほほえみ会」で ボランティアとしてお手伝いさせていただいた（各回1名）。

合計6回 のべ7名

3. 当事者団体などへの協力

(1) 寝屋川難病連絡会総会

12月4日(日)に行われた寝屋川難病連絡会第10回総会にボランティアとして2名がお手伝いさせていただいた。

(参加者12名：会員6名 市議2名 吹田難連より4名)

(2) 精神障害者地域交流事業への協力

精神障害者地域交流事業を行っている「ひなたぼっこの会」の運営への協力と各交流事業への参加を行った。昨年度より事務局を引き受けた。月に1回定例で運営委員会も行われている。

2005年度のひなたぼっこの会の活動

	日時	イベント・活動内容	参加数	当事者数
1	4月7日	ひなたぼっこの会 運営委員会	13名	2名
2	5月12日	ひなたぼっこの会 運営委員会	15名	4名
3	6月1日	ひなたぼっこの会 運営委員会	11名	1名
4	6月11日	おしゃべりサロン会	24名	15名
5	7月6日	ひなたぼっこの会 運営委員会	9名	
6	7月9日	おしゃべりサロン会	15名	9名
7	8月3日	ひなたぼっこの会 運営委員会	9名	
8	8月20日	おしゃべりサロン会	22名	17名
9	8月24日	チラシ編集会	4名	3名
10	9月3日	おしゃべりサロン会	15名	12名
11	9月7日	ひなたぼっこの会 運営委員会	8名	
12	9月17日	企画イベント「BBQ&花火大会」	20名	14名

13	10月1日	BBQ反省会	7名	4名
14	10月5日	ひなたぼっこの会 運営委員会	7名	
15	10月8日	おしゃべりサロン会	8名	4名
16		ミーティング会	11名	6名
17	11月2日	ひなたぼっこの会 運営委員会	10名	
18	11月12日	おしゃべりサロン会	11名	6名
19		ミーティング会	16名	10名
20	11月21日	「こころの健康まつり」企画実行委員会1	9名	2名
21	12月6日	「こころの健康まつり」企画実行委員会2	11名	3名
22	12月7日	ひなたぼっこの会 運営委員会	10名	1名
23	12月10日	ミーティング会	6名	3名
24	12月11日	もちつき大会	39名	
25	12月20日	「こころの健康まつり」企画実行委員会3	7名	3名
26	06年1月12日	ひなたぼっこの会 運営委員会	10名	1名
27	1月14日	チラシ編集会	4名	3名
28		ミーティング会	9名	5名
29	1月17日	「こころの健康まつり」企画実行委員会	10名	4名
30	1月27日	「こころの健康まつり」 買い出し	3名	2名
31	2月1日	ひなたぼっこの会 運営委員会	11名	1名
32	2月4日	第8回 「こころの健康まつり」	137名	
33	2月11日	企画イベント「なべパーティー」	22名	12名
34	2月22日	ひなたぼっこの会 運営委員会	6名	
35	3月3日	「なべパーティー」反省会	5名	4名
36	3月11日	ミーティング会	9名	4名
37	3月15日	ひなたぼっこの会 運営委員会	10名	1名
38	3月18日	水上バスアクアライナーに乗ろう!	17名	12名
39	3月25日	チラシ編集会	6名	5名
40	3月31日	事業実施報告書作成	2名	
計 のべ			578名	173名

(5) 健康相談活動

「たすけあいの会」では、1986年度10月より週1回（水曜日）、医師による健康相談日を設けていたが、1996年度からは月1回テーマを決め「健康塾」として開催し、広く会員、一般市民の健康に関する相談とを受け、また学習した。

* 2005年度は実施せず

(6) 入浴サービス活動

「ぽかぽか・ゆったり・いい湯だな事業」

めぐみデイサービスセンターのお風呂を開放していただき、当会が介護し、在宅の療養者に入浴をしていただく事業。1996年度に調整や取り決めを主に行

い、96年度末からの継続の1ケースを実施、97年度末にも依頼が入り、継続して対応した。2005年度は行われず。



【在宅療養者交流会】

2. 需給・連絡調整・相談活動

(1) 需給調整

	V求む	Vしたい	一般相談	その他	計
受付件数	37	37			74

* ボランティア求むには、はじめはボランティアがほしいという相談であっても、その後、制度、サービスにつないだものもふくむ。

* 「一般相談」と「その他」については、今年度、支援センターとの整理を行い、記載していない。

* 在宅ケース受理に際しては、「家庭訪問」を行い、ニーズの的確な把握とボランティアの役割の明確化、及び受け入れ側のボランティアの理解を深めた。また、制度・サービスにつなげるものについてはつないだ。

(2) 連絡調整

(1) 合同ケース検討会(またはケア会議)開催の呼びかけと参加

ケースの検討をめぐって、保健所、福祉事務所、ボランティアセンター、社会福祉施設、子ども家庭センターそれにケースにかかわるボランティア、サービス提供機関など関係者が協議した。2005年度は、2ケースについて開催された。ボランティアケースよりも、サービス提供機関のケースの方が多くなっている。

(2) 在宅難病患者地域ケア推進会議

寝屋川市内の在宅難病患者の地域ケアにかかわる関係機関の職員によって行われることになった在宅難病患者地域ケア推進会議に出席した。

(3) 精神障害者自立支援会議

精神病院への入院が長期化している精神障害者に対し、保健・医療・福祉の関係機関が連携して支援計画を樹立し、退院・地域での自立を支援する方策や地域システムを検討する会議。以前行われていた精神保健福祉合同委員会を吸収するような形で行われている。

(4) ボランティア連絡協議会

寝屋川ボランティアセンターの登録グループの連絡協議会へ参加。ボランティアセンター、他のグループとの相互理解・情報交換を進めた。

(5) 居宅介護事業者連絡会

(6) 居宅介護支援事業者連絡会

(7) 精神居宅介護事業連絡会

(8) 支援費事業者連絡会

以上、4つの事業者連絡会は、いずれもそれぞれの事業に関する寝屋川市主催の連絡会である。いずれにも参加して、情報収集などに努めた。

(9) 寝屋川市就業・生活支援準備センター運営委員会・実務者連絡会

昨年度から寝屋川市が新規で立ち上げた障害者の就業、雇用を支援するための

センターづくりの事業。委託先は隆光学園・輝きステーション。障害者生活支援センターとして、運営委員会と月に1回の実務者会議に参加した。

(3) 相談活動

1) シニアサポートセンターめぐみの第三者委員に任命されている。

2) 寝屋川市障害者生活支援事業の委託運営

2002年度より、寝屋川市より市町村障害者生活支援事業の委託を受け、寝屋川市民たすけあいの会地域生活支援センターを運営している。

難病者ピアカウンセリング・・・毎日

視覚障害者ピアカウンセリング・・・毎月第4土曜日

肢体不自由者ピアカウンセリング・・・週3日

聴覚障害者ピアカウンセリング・・・完全予約制

理学療法相談・・・毎月第2土曜日

※ 障害者ケアマネジメント従事者養成研修に1名

※ 障害者ケアマネジメント従事者養成上級研修に2名 が受講した。

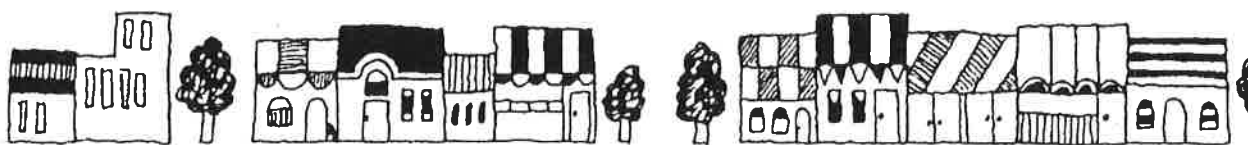
総合相談件数 384件

(支援費制度利用に関する相談77件、社会資源を活用するための支援61件、社会生活力を高めるための支援173件、ピアカウンセリング15件、精神障害に関する相談28件、卒後の進路・就労に関する相談9件、子育てに関する相談21件を含む)

連絡調整件数 472件

・関係機関との連絡調整

472件



3. ボランティアへの援助

(1) ケース検討会の開催

「たすけあいの会」では、在宅サービス活動に関わるボランティアへのフォロー・アップとして、毎月ケース検討会を開催している。個々のケースについてのボランティア相互の意見交換と、コンサルタントによる専門的助言を通して、活動の円滑な推進をはかった。また、関係機関との連絡調整の場にもなっている。内容は以下の通りである。

	日時	活動内容	参加V	関係機関からの参加・コンサルタント
1	4/25 14:00～16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて 個人情報保護法について	10名	山本CM (こまつケアプランセンター) 安川CW (小松病院)
2	5/23 14:00～16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	10名	坂崎PHN (寝屋川保健所) 安川CW (小松病院)
3	6/27 14:00～16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	8名	
4	7/25 14:00～16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	7名	安川CW (小松病院)
5	8/29 14:00～16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	13名	宗村PHN (寝屋川保健所) 安川CW (小松病院)、佐伯CW (松柏苑)
6	9/26 14:00～16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	8名	
7	10/24 14:00～16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	10名	安川CW (小松病院)、佐伯CW (松柏苑)
8	11/28 14:00～16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	7名	宗村PHN (寝屋川保健所)
9	12/26 14:00～16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	7名	
10	1/30 14:00～16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	10名	菱川PHN (寝屋川保健所) 安川CW (小松病院)、佐伯CW (松柏苑)
11	2/27 14:00～16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	9名	坂崎PHN (寝屋川保健所) 安川CW (小松病院)、佐伯CW (松柏苑)
12	3/27 14:00～16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	10名	安川CW (小松病院)、佐伯CW (松柏苑)

★CW…ケースワーカーの略。PHN…保健師の略。CM…ケアマネージャーの略。

(2) グループ援助活動 (当事者団体支援)

* カンガルー倶楽部

1992年10月「子育てのお母さんたちへ」の講演会を機に発足。若いお母さんたちのグループ。

毎週1回、子どもたちの遊び、お母さん同士の交流を中心に活動を続けている。

また、会報も発行している。

ビューローとしては連絡調整、会場・備品の提供などをおこなっている。

*** 寝屋川難病連絡会**

96年度の5月12日に、市内の難病団体および難病者のための寝屋川難病連絡会の発足総会が行われた。また月1回の運営委員会が行われている。当会はその事務局として、連絡調整、広報、会場・備品の提供などを行っている。

*** 寝屋川育児ネットワーク**

96年度の5月31日に、市内の乳幼児育児サークルのネットワーク作り・相互交流を目的に、当会が中心になってよびかけ、発足する。定例的に1～2カ月に一度程度の集まり。単なるサークルの集まりではなく、多角的に事業を行っていくことになる。当会はその事務局として、連絡調整、広報、会場・備品の提供などを行っている。

今年度は、活動なし

*** 障がい者の自立を考える会「やじろべー」**

車いす利用者の4名を中心に自分たちの自立生活を考える会として発足。昨年度は自立を考えるセミナーを開催、また、5周年記念講演会も開催。自立に関するさまざまな活動を企画していくことにされている。

(3) ろうきんパートナーシップ

大阪ボランティア協会と労働金庫が共催しているボランティア推進プログラムの受け入れ先を5年前から行っていたが、今年度は受入はなかった。

4. 教育・啓発活動

【1】ILP講座「自分らしく生きるために」

場 所：たすけあいの会 ぼちぼち하우스

日 時：①9月3日(土)13時～16時

②9月4日(日)13時～16時

講 師：玉木 幸則氏(メインストリーム協会)

参加者：①3名 ②3名

【2】精神保健福祉ボランティア養成講座

場 所：寝屋川市保健福祉センター5階 第5研修室

精神障害者地域生活支援センター「あおぞら」

日 時：①10月8日(土)14時～16時

②10月15日(土)14時～16時

③10月22日(土)14時～16時

④10月29日(土)14時～16時

講 師：①根本 良美氏(三家クリニック)

②吉田 聡子氏(寝屋川市社会福祉協議会)

- ③森 克彦 氏（堺市精神障害者地域生活支援センター「アンダンテ」）
④寝屋川市精神障害者地域生活支援センター「あおぞら」のみなさん
参加者：①21名 ②18名 ③18名 ④17名

【3】かわち市民塾

「市民発のNPO活動

～全国有数のNPO活動をほこる愛知県知多半島の活動を知ろう！～

場 所：市立総合センター4階 第1研修室

日 時：11月27日（日）13時半～15時半

講 師：今井友乃 氏（NPO法人 地域福祉サポートちた）

参加者：13名

【4】かわち市民塾

「ふわりとつつんで ～障害のある人たちへの地域生活支援～」

場 所：市立保健福祉センター5階 多目的ホール

日 時：2006年3月12日（日）10時半～12時

講 師：加藤 恵 氏（社会福祉法人 むそう）

参加者：29名

【5】障害者自立支援法講演会

第1部 「障害者自立支援法について」

第2部 トークセッション「障害者自立支援法を考える」

場 所：市立保健福祉センター5階 多目的ホール

日 時：2006年3月12日（日）13時～16時

講 師：第1部 寝屋川市障害福祉課職員

第2部 玉木 幸則 氏（メインストリーム協会）

富田 昌吾 氏（寝屋川市民たすけあいの会）

参加者：74名

5. 広報活動

（1）会誌「つなぐ」の発行 6回

* B5版、手書き、10ページ 950部（隔月刊）

* 「つなぐ」編集委員会の開催

★身体障害者刊行物協会の出版として第3種郵便物として発行

（2）広報一般

* 会の動きやボランティア募集記事、講演会の案内などを、「広報ねやがわ」、「サンケイリビング京阪」、情報誌「ぱど」、「月刊ボランティア」、大阪ボランティア協会を通じての新聞、読売新聞・毎日新聞のボランティア欄、全国新聞などに随時掲載した。

(3) ホームページの公開

<http://homepage3.nifty.com/neyagawatasukeai>

6. 見学・来訪・交流、調査の依頼、実習生の受入

(1) 見学・来訪・交流

見学者 7名 (うち「社会福祉法人 むそう」より3名)

(2) 調査・取材の依頼

調査については略

取材はなし

(3) 実習生の受入

今年度はなし

7. 調査・研究活動

活動なし



【定期総会】

【 2 】 組織と運営

1. 会員

(1) 会員数 = 会費納入者

2006年3月末現在

	個人会員	団体会員
04年度までの会員	203名	26名
05年度 加入者	44名	2名
05年度 退会者	44名	10名
会員数	203名	18名
総会員数	221名	

注) 数字のカウントの仕方
→ 2004年度会費納入者数
→ 新規および復活者数
→ 退会および2005年未入者数
→ 2005年会費納入者数

(2) 会員へのサービス

- 1) 会誌「つなぐ」の送付 6回
- 2) ボランティア保険への加入 (一部会員のみ、会費より)

(3) 会員交流会 = 「コスモス」

日時 7月23日(土)
場所 菜屋 ジャポネ (枚方)
参加者 12名

2. 組織活動 (敬称略)

(1) 定期総会

日時 2005年5月22日(日) 10:30~12:00
場所 ぼちぼちはうす
議題 1) 2004年度事業報告及び決算報告の審議・承認
2) 2005年度事業計画及び予算計画の審議・承認
3) 2005年度役員選出
4) 特定非営利活動法人寝屋川市民たすけあいの会地域ケアセンター
2004年度事業報告および2005年事業計画
出席者 158名 (委任状提出者128名、非会員5名を含む)

(2) 運営委員会 毎月第1月曜日 13:30~16:30

運営委員: 黒田民子、上野谷加代子、田中哲次郎、別所訓子、中尾京子、
西尾美津子、橋本義郎、森川加代、村井謙太
主な議事 事業の企画と調整
財政問題等

(3) 事務局

事務局体制 事務局・有償ボランティア 毎週火・木・金曜日
事務局・無償ボランティア 71回
ビューロー開館 月~金曜日 10~17時
(必要に応じて日曜日も開館)

(4) 職員

2005年度の常勤職員は12名であった。

村井謙太、富田昌吾、中務飛鳥、福井美奈子、西岡寛信、吉田智里、河野愛美、
門前希代子、長渡信博、花戸音羽、山野仁美、玉井朋子(2005年10月に
退職)

三国洋子(常勤ヘルパー2005年12月～)

3. 財源の確保

(1) 会員及び寄付(略)

(2) バザーの開催

A) ぼちぼちバザール(主催:8団体の参加)

日にち:7月10日(日)

場 所:総合センター1階

売 上:74,004円

B) ロイヤル祭

日にち:9月11日(日)

場 所:ロイヤルライフカミダ

売 上:9,850円

たこ焼きの売り上げ18,100円寄付頂きました

C) フェット・エスポアール

日にち:10月29日(土)、10月30日(日)

場 所:エスポアール

売 上:47,700円 参加費等11,500円 差し引き36,200円

D) エコ・フェスタ

日にち:11月20日(日)

場 所:打上川池水緑地公園

売 上:31,220円 参加費2,000円 差し引き29,220円

(3) 特別事業

1) 印刷事業

95年度より、大阪府福祉基金により購入した印刷機を利用し、印刷事業を行
なっている。2003年印刷機を買い換えた。

2) もうひとつのお返しプラン

大阪ボランティア協会NPO支援センターが行っている香典返しや快気祝いをNPO
に支援するプロジェクト。支援先団体として協力している。今年度は、寄付はな
かった。